

# 地域包括支援センターだより (ええげえし)

「ええげえし」＝「相返し」秩父地域の方言で「助け合う・支え合う」ことを意味します。

第12号 (年4回発行)

H25. 3. 1発行

《編集発行》

皆野町地域包括支援センター

皆野町大字皆野1420-1

電話 62-1233

題字：書道クラブ「若竹」大前安子 様

## まずは相談しましょう。

地域包括支援センターはこんな仕事をしています

地域包括支援センターは、高齢者のみなさんが、できる限り住み慣れたところで、自立した生活が続けられるようにお手伝いします。介護保険サービスや認知症のことをはじめ、生活に関する不安や悩みなどいろいろな相談に応じます。ケアマネジャー・保健師・社会福祉主事が、自宅、病院や施設にお伺いします。電話やメールもお受けします。気軽にご相談ください。

高齢者のよろず相談所

**皆野町地域包括支援センター  
(健康福祉課内)**

電話 62-1233 内線 115・116

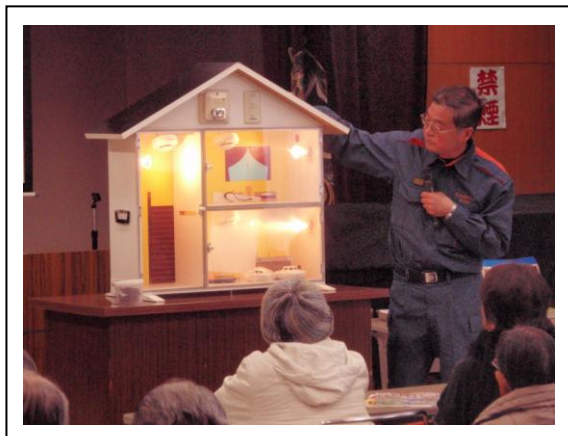
メールアドレス [hokatsu@town.minano.saitama.jp](mailto:hokatsu@town.minano.saitama.jp)

# 『火災から尊い命を守ろう！』

## ～高齢者学級～

2月14日（木）、総合センターにて、高齢者学級に参加された方を対象に、火災予防の大切さについて講座が開かれました。

講師に秩父消防署北分署 井相田副分署長をお招きし、自宅での火災発生の原因、火災報知器の大切さ、実際に火災に遭遇した時の対処法、初期消火の重要性など具体的に学ぶことができました。



火災報知器は設置していますか。



日頃から万一の時に備えましょう！



「防災」素材の衣類は身を守り、カーテンは火災の拡大を防ぎます。

①通報（119番）の際は、まず落ち着いて、「火災」なのか、「救急」なのか、「氏名」「住所」「電話番号」「状況」を慌てずに伝えましょう。

※電話の周囲に「火災・救急119番」「住所」「氏名」などのメモを貼っておきましょう。

②消火器を準備し、使い方を理解しておきましょう。

③万一の時の避難経路について、家族で話し合しましょう。

秩父地域専門職連携推進会議 研修会

## ～ターミナル期における介護職の役割～

2月13日（水）夜、文化会館にて、終末期（ターミナル期）における、介護職の役割について研修会が開催されました。（介護職をはじめとする専門職257名参加）

研修会は、学習講演とシンポジウムの二部構成で行われました。本人や家族が望む終末期をどのように支えていくか、医師、訪問看護師、ケアマネジャー、介護職の連携について、意見交換が行われました。

終末期における「痛み」の緩和について、とりわけ不安や心配という「心の痛み」の緩和は重要です。

在宅生活支援において、最も介護職が本人、家族と接する機会が多く、その役割の重要性について改めて認識しました。



### <地域包括支援センターからのお知らせ>

#### 「在宅介護者の集い」の開催について

日 時：平成25年3月21日（木）午後1時～午後3時

場 所：皆野町老人福祉センター「長生荘」

参加費：無料

講 師：秩父市立病院 ファーストエイド 角田明美看護師

内 容：食事や排泄の介助方法、薬の扱い方、交流や情報交換など。

申込み・問い合わせ：皆野町社会福祉協議会 電話62-4615

## 家の奥でねむっている品ありませんか???

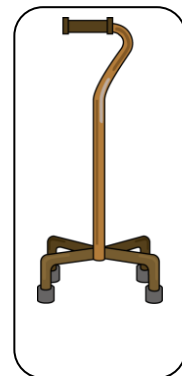
### ●ポータブルトイレ



### ●押し車



### ●多点杖(四点杖)



**\* ポータブルトイレは、未使用品または数回しか使用していないものに限ります。**

**「寄付してもよい。」という方、連絡お待ちしております。**

**(問い合わせ先) 皆野町地域包括支援センター (健康福祉課内)**

**電話 62-1233 (内線115・116)**

### 【編集後記】

昔、村の長老は、偉大で村人たちの絶大な信頼を得て尊敬される存在だったという。昔の若者は、長老に知恵や情報を授かろうと、ことあることにお伺いを立て、相談していたのだろう。昔は、長生きする年寄りは今ほど多くなかったと思う。けれども、よく考えてみれば、年寄りの多少に関係ないことがわかる。なぜなら、年寄りみんな、長く生き抜いてきた術や経験を備えているから。その証拠に、東日本大震災の津波の際（境目）には、神社、寺、碑などが建てられていたという。どんなに技術が発達しても、どんなに物が溢れ豊かになっても、普遍的なものがそこにある。

とかく高齢社会が問題視されるが、逆転の発想で、年寄りの持つ術や経験を引き出しては、「さっきも同じこと言って・・・」「またその話、この間も聞いた！」なんて思わないで言わないで、よく聞いてみよう。話の中に聞き逃してはならぬ大事なことがちりばめられている。

ペン やす